資料３

「新世紀とやま文化振興計画」の改定（骨子たたき台）について

施策の方向性		主な重点施策(変更案)	第１回審議会で主な意見・アンケート結果	文化庁文化政策部会の「審議経過報告」より（地方に関係する施策を抽出）
文化活動への幅広い県民の参加	身近なところで優れた文化を鑑賞する機会の充実	・文化施設での鑑賞の充実 ・巡回展示や出前公演等による鑑賞機会の充実 ・最新の情報通信技術を使った鑑賞の充実	近美にカフェ等をつくりイメージアップ（大谷） 友の会の会員増を図るべき（若林） 子どもたちが触れる事が大事、アウトリーチを充実（吉川、若林） 文化の環境格差をなくすためにもＩＴ技術の活用を（本川） ・県立美術館等小中高生等無料化の周知度は依然低い（23.3%） ・文化施設が地域の文化活動の拠点となるために力を入れることは、「催し物のPRを充実30.5%」「鑑賞機会を充実29.8%」など	・「くらしの文化」の振興 ・美術品の国家補償制度の導入の検討
	文化の創造への支援	・練習の場の確保 ・指導者の確保と養成 ・発表の場・批評の場の確保	指導者招聘、芸術文化ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業は効果的、継続を（可西） 県民ふれあい公演事業は身近な所で鑑賞できる良い事業（舟本）	・新進芸術家の海外研修やその成果の還元機会、国内での研修機会の充実
	文化を通じた交流・文化活動への参加の拡大	・支援する人々との協働の促進 ・地域の人々の参画の促進 ・高齢者、障害者等の文化活動の充実 論点１　文化ボランティアの養成	地域のボランティアによる地域文化発信は活発化（上野） ボランティア養成・人材活用をシステム化（畠山、舟本、吉田） 地域ボランティア等社会教育等との連携が必要（山西） 学校に文化の専門家が日常的に居る文化エキスパート制度（山村） ・ボランティア活動している人が少ない（していない人93.8%）	・文化芸術活動や施設運営を支える専門的人材の育成・活用の支援の充実 ・大学等との関係機関との連携強化 ・ＮＰＯ法人等「新しい公共」による文化芸術活動を支援
	次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動の充実	・青少年の芸術鑑賞、体験事業の充実 ・青少年の創作活動への支援 ・子どもたちの国内外との交流の充実 ・学校教育における文化活動の充実と地域の文化活動への理解の促進 ・伝統文化への参加と体験の機会の確保 ・若手芸術家の育成 論点２　子どもたちの文化活動の充実 論点４　後継者の養成・育成	子どもたちに芸術文化に多く親しめる機会を作る（大谷） 子どもの文化活動に国の予算をもっと回してほしい（酒井） 学校教育の中で文化と関わる活動を、そのため人材育成を（山西） 地域の祭りなど地域をうまく活用しつつ、学校の中で伝承（吉川） 若手芸術家の育成・雇用確保（伊藤、可西、若林） ・民俗芸能の継承等で特に力を入れたらいいこととして、子どもたちが演じられるよう学校教育で取り組む（36.8%） ・子どもが文化に親しむために特に力をいれることは、文化鑑賞の機会等を学校教育の場で充実(61.2%)	・幼い子どもから若者まで対象とした多彩な優れた芸術の鑑賞機会、伝統文化や文化財に親しむ機会の充実 ・文化芸術を通じたｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ教育をはじめ、学校教育における芸術教育の充実 ・若手をはじめ芸術家の育成支援の充実
の高い文化の創造と世界への発信	優れた舞台芸術の創造と世界への発信	・国際舞台芸術人材育成事業による国際的な舞台芸術の拠点づくり ・演劇の聖地にふさわしい舞台芸術空間づくり ・世界演劇祭の開催などによる舞台芸術の発信 論点３　国内外に発信する文化芸術事業	地域の文化施設を芸術拠点として人材を確保し、支援（伊藤）	・地域の核となる文化芸術拠点への支援拡充 ・地域の文化芸術資源の発掘・活用に関し、創造都市の取組等新たな創造拠点の形成の支援 ・中核的国際芸術フェスティバルの国内開催への支援
	特色ある国際的な文化振興事業の展開と発信	・世界ポスタートリエンナーレトヤマなどの国際事業の開催 ・世界こども演劇祭等芸術団体等による創造と発信の推進 論点３　国内外に発信する文化芸術事業〈再掲〉	第１回とやま世界こども舞台芸術祭の開催は、大きな成果（可西） 富山県は文化の宝庫であり、振興に際し焦点を絞るべき（金山）	・文化発信・交流の拠点として博物館・美術館や大学の活動・内容の充実
	富山固有の文化の発掘と県民による再認識と発信	・おわらなど貴重な伝統文化の発掘と発信 ・美しく魅力ある景観づくり ・富山の魅力を知る・学ぶ機会づくり ・伝統文化・伝統芸能の後継者養成 論点６　文化を活かしたまちづくり・地域づくり 論点４　後継者の養成・育成	職人の後継者養成が重要（池上、上野、畠山、会長） 文化資源の発見と活用に取り組むべき（池上、上野） 早急な景観保全が必要。観光面では富山の原風景での農業体験なども富山の魅力（上野） ・国内外に誇れる文化等は、世界遺産「五箇山合掌造り集落」などの歴史的な町並み・集落、建造物（70.9%）	・無形文化財や文化財を支える技術・技能伝承者への支援の充実
	情報通信等技術を活用した文化の創造と発信	・バーチャルミュージアム、総合ポータルサイトによる情報発信 ・新しいメディア等を活用した文化の発信	インターネット等情報通信技術による発信を強化（山西）	・文化芸術分野のアーカイブ構築の推進
文化と他分野の連携	文化振興と観光振興	・文化を活かした観光の振興	富山の文化性である里山・里海の生活文化の掘起こし必要（川合） ・文化が息づくまちづくりに関し力を入れることでは、「文化を活用した観光振興と連携したまちづくりを進める」の伸び大（前回33.3%→今回37.9%）	・文化財建造物、史跡、博物館や各地に所在する文化芸術資源の観光振興、地域振興に活用するための取組の推進
	文化を活かしたまちづくり・地域づくり	・地域文化の再発見と活用 ・地域の文化資源を活かしたにぎわいづくりの促進 論点６　文化を活かしたまちづくり・地域づくり〈再掲〉	文化資源の発見と活用に取り組むべき（池上、上野）＜再掲＞ ・文化が息づくまちづくりに関し力を入れることでは、「地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る」（44.0%） ・「元気とやま創造」のための重点施策で「文化活かして中心市街地の賑わい創出」の伸びが大（前回20.2%→今回26.0%）	・地方芸術祭、ｱｰﾃｨｽﾄ･ｲﾝ･ﾚｼﾞﾃﾞﾝｽ等による地域文化振興の奨励 ・地域に根ざした身近な文化芸術資源の掘り起こし
	とやまの食の魅力のアピール	・食文化の魅力を全国に発信 論点５　食文化の発信	県民が富山の食材や料理の良さを学び知ることが富山の食文化の向上に（安井）	・「くらしの文化」の振興〈再掲〉
	文化を活かした産業の振興	・文化を活かした産業の振興 ・最先端のものづくり文化の創造	文化と産業との連携（富樫） 横断的・相互連携的な視点で文化施策を(斎藤)	・文化芸術活動の成果を創造産業や観光関連産業に結びつける取組の推進

※ 論点○ 資料４主な重点施策の論点整理

＊黒字項目：県文化振興計画掲載事業、青字項目：未掲載